

補助金チェックシート(新規)

作成年度: 令和6年度

1. 補助金の内容

補助金名称	若年者奨学金返還支援補助金	補助金番号	F1-9
所管部署	観光にぎわい部 商工振興課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市若年者奨学金返還支援補助金交付要綱		
制定状況	制定済 ⇒	令和 年 月 日施行	
	○ 未制定 ⇒	令和7年3月制定、令和7年4月1日施行予定	
交付の目的	若年者の経済的負担の軽減を図り安定した就労を支援することで、市内中小企業の人材確保及び人材の定着を図ることを目的とする。		
補助対象経費	前年10月から当年9月の間に返還した奨学金額(奨学金返還開始月から最大5年間)		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	市民(35歳未満の若年労働者で市内中小企業に正規雇用で就業して5年以下)		
開始年月日	令和7年10月1日(予定)	サンセット期日	令和9 年度末
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助
法令等での義務付け	なし	法令等名称	その他 ○

2. 予算要求額

(千円)

	月補正	令和7 年度当初予算
要求(予定)額		32,400
特定財源	国庫支出金	
	府支出金	
	その他	
一般財源	0	32,400

(件)

交付見込み件数	360
---------	-----

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

①補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	若年労働者の安定した就労を支援することで、市内中小企業の人材確保が図られ、地域経済への経済波及効果が期待されることから、広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要不可欠な補助金交付である。	✓	当該補助金の交付により、就職後も奨学金返還の負担を抱える若年者の経済的負担の軽減を図り、安定した就労を支援することは、施策目標「いきいきと働くことのできるまち」の実現に向け、必要不可欠である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	独立行政法人日本学生支援機構の奨学金返還者数は年々増加傾向にあり、若者にとって進学する上で奨学金はなくてはならない制度となりつつあるが、実質賃金の減少等により若年労働者が担う奨学金の返還は負担を増している。

有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	若年労働者の安定した就労を支援することで、市内中小企業の人材確保及び定着に繋がる見込みがある。申請者または企業へのアンケートにより効果を把握する予定。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	補助金交付により、就職後も奨学金の返還が負担となっている若年労働者の経済的な負担軽減が図られ、安定した就労への支援に繋がるため、適正で効果的な手法である。
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件を満たす不特定多数が交付申請可能である。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補助対象経費の2分の1(上限あり)
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	補助金交付要綱に定めている(予定)
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	ホームページにて補助制度を公表(予定)

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	他の類似制度と重複が無いか確認をしている。	✓	類似制度はない